

# 甲府駅前 バスロケシステムが登場!

■今年度に完成予定の総合案内所のイメージ図(正面)



自分の乗りたいバスが今どのあたりまで来ているのか。バス停で待っている身には、気になるものですよね? そんなモヤモヤを解消してくれる、バスロケーションシステム、略して「バスロケ」が、ついに甲府駅前にも登場しました。どんなシステムなのか、お話を聞いてみましょう。



■駅前各のりばに設置されるバスロケのサイネージ(イメージ図)

## バスコンシェルジュからバスロケへ

「やまなしバスコンシェルジュ」は、パソコンや携帯電話、スマートフォンなどからアクセスできるバスの案内システムで、2010年から運用されています。

3月に完成したばかりの甲府駅前のバスロケーションシステムとは、これから自分が乗るバスが、いくつ前のバス停まで来ているのかという位置情報を、バス停に設置されたデジタルサイネージ(電子看板)に表示するシステムです。携帯電話などにも使用されているGPSを利用して、運行しているバスの位置を特定し、表示することができます。

## バスロケも多国籍化

目的地を入力すれば最適なバスルートを表示してくれるナビ情報、バスが今現在どのあたりにいるのかという接近情報、バス停から近い観光地を表示してくれる観光情報などが、スマホなどの気軽な操作ひとつで得られるということで、利用者には好評のシステムです。

バスの位置情報を得られる同様のシステムは各地で開発されてきましたが、観光情報まで連携しているものは、全国でもあまり例がありません。

ただし、バスコンシェルジュは、自宅やパソコンからのアクセス、屋外なら携帯電話などの端末でアクセスする形なので、携帯電話を持っていない方などにはなかなか利用する機会がありませんでした。

甲府駅前のバスロケには、この「やまなしバスコンシェルジュ」のために開発されたシステムが利用されています。

このシステムは、山梨県バス協会と山梨大学が企画開発し、(株)YSK.comがシステム開発を担当したものであり、その信頼性はお墨付きです。

バスロケが実際にどういう表示になるのかを、簡単に説明しましょう。

駅前バスターミナルの各のりばにそれぞれデジタルサイネージが設置され、ひとつのサイネージには、そののりばから出発する直近4本のバスの情報が表示されます。(表示例参照)

系統番号、行き先/経路、出発時刻、接近情報、1列に表示される形です。

6番のりばを出発する高速バスについては、残席状況もわかります。

系統番号 系統路線	行き先/経路 目的地/方向	出発時刻 発着時刻	接近情報 訪問情報
01	(一高・羽黒経由)山宮循環線 (Via Kofu First High School/Haguro) Yamamiya loop-route	13:10	到着
77	(中央病院)竜王駅 (Prefectural Central Hospital/Ryuo Station)	13:14	4 停前
03	昇仙峡口 Shosenkyo-guchi	13:20	11 停前
70	(飯田)敷島団地 (Iida/Shikishima-danchi)	13:33	20 停前

現在時刻 13:12 運行情報 交通情報

4 番乗り場は (一高・飯田・中央)

■バスロケシステムの表示画面の一例

行き先やバス停名は、日本語と英語で表示され、表の上の見出し文字は、日本語、英語のほか、韓国語、中国語(繁体、簡体)の計5言語で表示されています。



■リニューアルされた甲府駅南口の全体図

JR甲府駅南口のロータリーが、一昨年頃から徐々にリニューアルされていることが存じでしょうか。路面などの工事はほぼ終わっており、あとは、今年度にオープン予定の総合案内所の完成を待つばかりです。

甲府駅前が、1986年に山梨県で開業された「かいじ国体」にあわせて、その前年である1985年に再整備工事を

## 甲府駅前、30年ぶりのリニューアル

行っていました。それ以来の大幅リニューアルですから、30年ぶりのこととなります。駅前再整備事業に関わってきた山梨交通バス事業部長の池田雄次さんにお話をうかがいました。



■山梨交通・バス事業部長の池田雄次さん

「今回の再整備のコンセプトとなっているのは、「車優先ではなく、人優先の駅前にした」ということです。これまでは、マイカーによるアクセスを重視したつくりになっていて、歩行者は駅からバスターミナルへ横断歩道を渡る必要がありました。再整備によって、駅から降りてすぐに、公共交通機関であるバスやタクシーにアクセスできる駅前広場にしたいというのが山梨県の意向でもあったのです。」

その「人優先」の考えから生まれたのが、わかりやすく整理されたバスのりばと、バスロケーションシステムの導入でした。

ラムが表示されていて、学校を経由していることがわかります。竜王駅行きには駅のマーク、昇仙峡口行きには景勝地のマークがついています。海外の方でも、お子さんやお年寄りでも、ひと目でわかるピクトグラムの導入で、駅前バスロケが、ちょっとした観光情報にもなっているのです。

バスターミナルの南側に今年度オープン予定の総合案内所は、山梨交通のバスターミナルと甲府市の観光案内所がいっしょになった施設です。この総合案内所と、バスターミナルの入り口には、各のりばにあるサイネージとは別に、総合案内表示板というものが設置されます。

これは、駅前すべてののりば情報を一覧表示するもので、お客さまはこれを見て、各のりばで乗車いただくこととなります。

「人にやさしく、そして便利に」を合い言葉に、進化していくバスの形。総合案内所で観光地を確認して、バスロケでバスの位置を確認して、ますます便利にバスを利用して、甲府を、山梨を満喫してください。

